

香流苑解体撤去工事中に出土した産業廃棄物の 埋設された原因と経緯について

現在、令和3年度末までし尿処理施設として使用していた香流苑の解体撤去工事を進めていますが、敷地内で判明していた土壤汚染の除去のため一部掘削を実施したところ、香流苑建設時に埋設されたとされる産業廃棄物が出土しました。

1 概要

(1) 「①汚染土壤範囲図」において、「F1-2」「F1-5」「F1-8」「E1-8」の4箇所を掘削したところ、コンクリートがらや、アスファルトがらなどが出土しました。出土した内容物や量については、「②地中埋設物写真」のとおりです。

※ 「F1-2」は1.5m、「F1-5」「F1-8」「E1-8」は0.6m掘削しました。

(2) その後、香流苑敷地内の北側や南東側で試掘を実施したところ、こちらでも一部で産業廃棄物が出土しました。

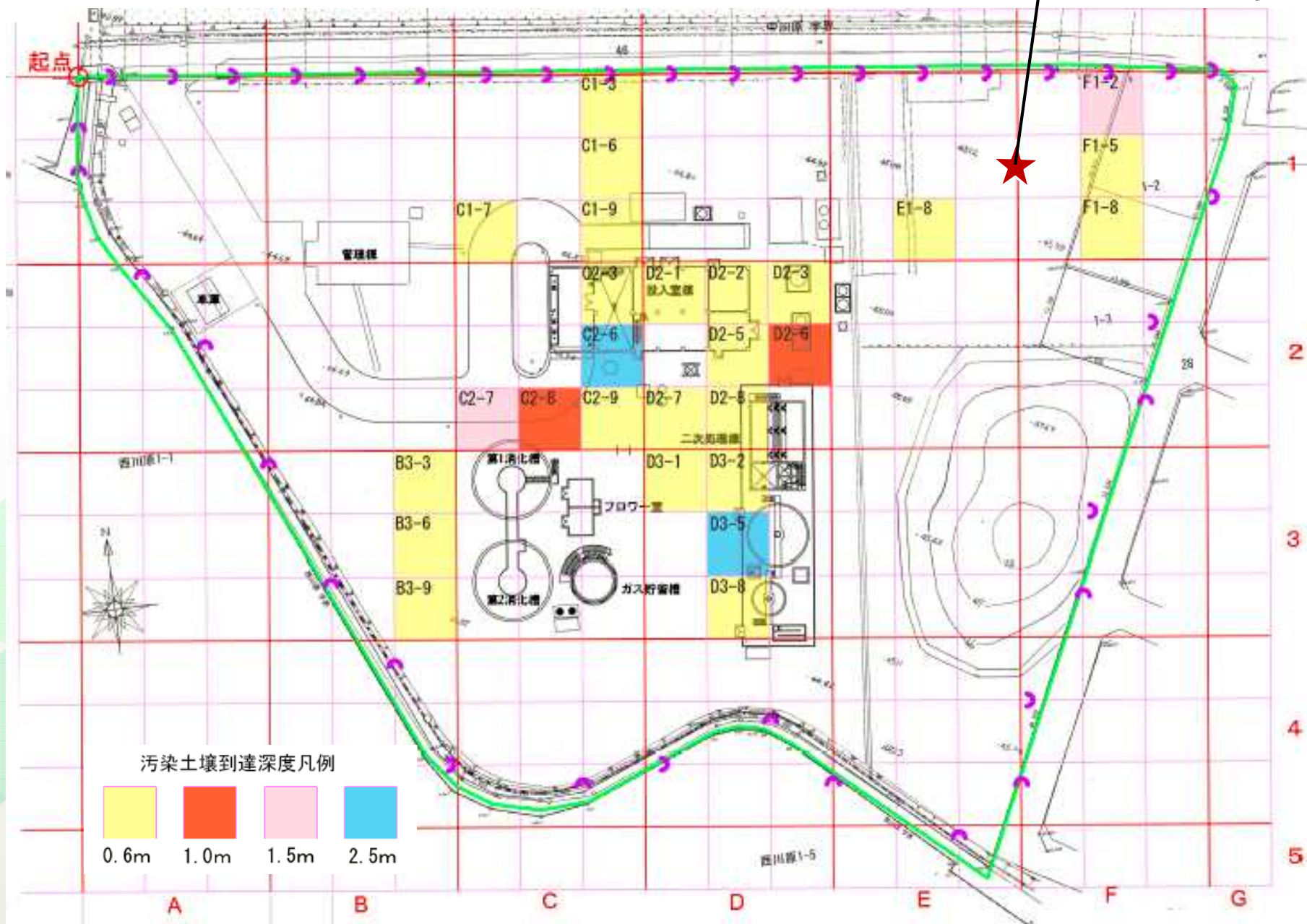
(3) 旧香流苑は、当時の尾張旭市長久手町衛生組合が、元々田んぼだった場所を盛土して造成した上で整備しました。また、産業廃棄物が発生した原因は、盛土と同時に産業廃棄物が埋められた可能性が高いと考えられますが、明確なことは分かっていません。

2 今後の方針

- (1) 旧香流苑の敷地内全体の調査を実施
- (2) 尾張旭市と産廃撤去方針について協議
- (3) 旧香流苑土地利用意見交換会の参加者と意見交換
- (4) 産業廃棄物の処理方法や範囲について総合的に判断

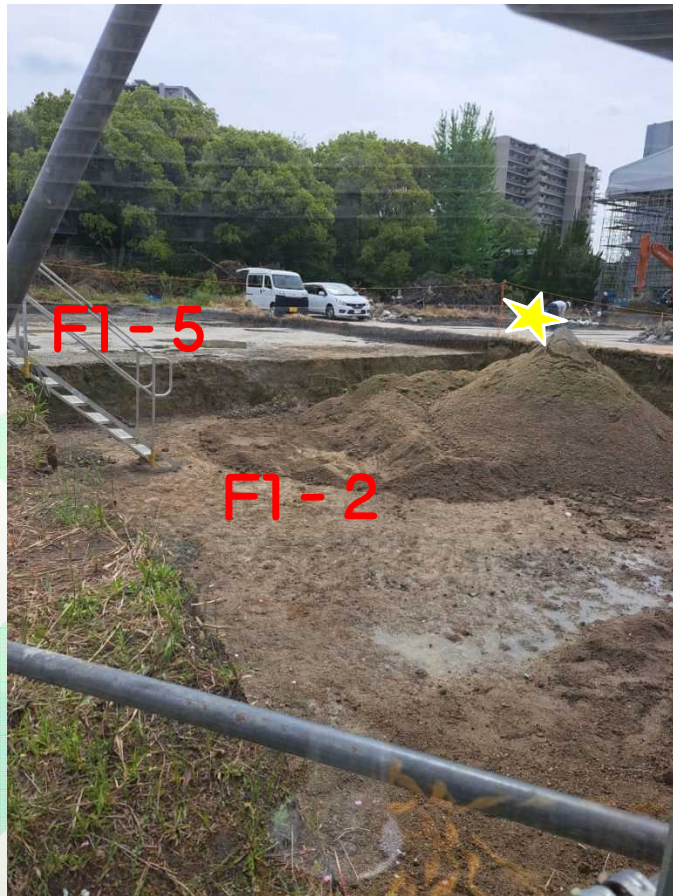
① 汚染土壌範囲図

次ページ参照



② 地中埋設物写真

仮囲いの外
からの様子



F1-5,8の産業廃棄物



F1-2の産業廃棄物

★に立ち、
上川原方向に撮影(左)
下川原方向に撮影(上)